

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島小・中学校
児童・生徒数 23名
学校だより 10月号
令和3年10月18日発

季節を感じながら

校長 下村 尚

島内をランニングしていると道端に彼岸花が咲いているのを見かけました。また学校の正門横には、夏はヒマワリが元気よく咲いていましたが、今の季節はコスモスが少しずつ花を咲かせています。秋の花が学校や集落周辺の至る所に季節の彩を添えてくれています。

学習の中での季節を探してみると、国語の教科書の一節に、「忘れられたように咲いていたコスモスの花・・・(小4国語『一つの花』より)」や「ひがん花が赤いきれのように・・・(小4国語『ごんぎつね』より)」などが思い出されます。この季節ならではの風景を観察してみると、新たな発見があるかもしれません。ぜひ、この機会にお子さんと一緒に教科書の感想を話し合ったり、保護者や里親の方が子供の頃に読んだことのある本などを紹介したりするなどして、「秋の夜長」を楽しんでみるのもいかがでしょうか。

さて、10月3日(日)は、第74回宝島大運動会が素晴らしい天候に恵まれ、開催することができました。前の週は台風16号の進路を心配していましたが、大きな影響がなくほっとしたとことでした。「仲間とともに心を合わせ、五輪を越えろ宝島」のスローガンのもと、練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい運動会となりました。また、自治会をはじめ青年団や婦人会、敬老会やいまきら園、地域の皆様のご協力で盛り上がりのある運動会になりましたことを御礼申し上げます。

10月も半ばを過ぎ、急に暑さが和らぎ、過ごしやすい季節となってきました。急な気温の変化に体調を崩しやすくなります。コロナ禍における第6波も心配されますが、同時にインフルエンザの流行も心配されます。健康安全を最優先に考え、宝の夢文化祭をはじめ、2学期後半の教育活動も一生懸命取り組んでいきますので、御協力・御支援いただきますようお願いいたします。



「書くことは宝なり」 From 校長室

先月、小学5・6年生が畜産学習に取り組みました。本校の保護者で畜産を営む福島隆志さんの協力を得て、実際に牛に触れたり、十島の畜産について説明を聞いたりしました。右の文章は、その時に感じたことや思いを綴った田中光結さんの「若い目」に掲載された作品です。産まれたばかりの子牛は、子供たちが「ミルク」と名付けました。

畜産を学ぶ
宝島小5年
田中 光結
総合的な学習の時間に「畜産学習」がありました。畜産学習とは十島村の畜産について学び、宝島の牛のお世話をしたことです。里、生産農家の仕事の内、母牛がどのように子牛を育ててくれたのか、その後、市場に運ぶのか、その後の、市場に民の方々が畜産をいかにしているのか、などを学びました。今回、牧場や牛舎の見学をさせてもらったのは、同じ学校の友達のお父さんでした。牧場にはたくさんの牛がいました。それぞれの牛が育っている牛舎に名前が書いてあります。これは、牛の乳を搾るための乳桶です。(十島村)

は、鼻の輪の色や耳についているタグで見分けているそうです。一番おどろいたのは、生産者の声か、かだけ牛が集まってきたことでした。母牛がどのように子牛を育ててくれたのか、その後、市場に運ぶのか、その後の、市場に民の方々が畜産をいかにしているのか、などを学びました。今回、牧場や牛舎の見学をさせてもらったのは、同じ学校の友達のお父さんでした。牧場にはたくさんの牛がいました。それぞれの牛が育っている牛舎に名前が書いてあります。これは、牛の乳を搾るための乳桶です。(十島村)

五輪を超えた！第74回宝島大運動会

10月3日、まさに「秋晴れ」ともいふべき、絶好の運動会日和に恵まれました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、検温、マスクの着用をはじめ島民のみなさま方にいろいろとご協力をいただきました。おかげをもちまして、「安心・安全」を最優先にした運動会を実施することができました。

整備されたグラウンドで、いまきら園、青年団、壮年団、婦人会、そして小中学生のみなさんが競技に集中し、「感動あり、笑いあり」の連続でした。地域協力隊員の寺本さんのユーモアあふれるアナウンス等もあり、会場のボルテージが一気にヒートアップしました。また、老人会の「宝の一本釣り」も復活し、参加されたお年寄りの方々は、たくさんのお宝を釣り上げていました。

今年も午前開催となりましたが、内容が凝縮され、充実した運動会となりました。島民のみなさま方のご協力に対しまして、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



みかたもーれ、十五夜のお月様

例年、恒例行事となっている「みかたもーれ」と「十五夜」が子ども会の役員の方々の綿密な計画、準備により、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして実施されました。みかたもーれでは、元気な子供の声と笑顔があふれていました。また、十五夜の取組では、満月の月夜のもと、十五夜にまつわる話をクイズにしてミッションをクリアしていきました。そのあとは、港で花火大会を行い、過ぎ行く夏の夜のすてきな思い出を作ることができました。



11月の主な行事予定

- 7日(日) 宝の夢文化祭
- 8日(月) 振替休日
- 13日(土) トカラ集会(中之島) 落花生袋詰め
- 17日(水) 芸術鑑賞
- 19日(金) 収穫祭
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 24日(水) 期末テスト(～26日)



海を眺めながら、「お弁当給食の日」